

## 校長室より

## ■未来へつながる～素晴らしい出会いに感謝～

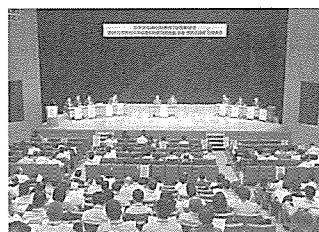
<6月14日(水)～16日(金) 全通研島根大会>

「高等学校通信制教育70周年記念第69回全国高等学校通信制教育研究会島根大会」(全通研島根大会)が松江市で開催されました。

宍道高校は、この大会の主管校として全国各地の通信制高校の先生方約350名の方をお迎えしました。通信制教育を支えておられる全国の先生方との出会いをとおして、優れた実践や熱い思いに触れることができ、大いに刺激を受けました。

また、高等学校通信制教育70周年の節目として「通信制教育宣言」が採択され(下記)、今後の通信制教育の進むべき道筋を改めて確認することができました。私たち宍道高校教職員も本校の通信制教育の更なる充実と発展をめざし、決意を新たにしましたところ です。

参加者された方々から「内容が充実し思い出に残る大会となった」「準備や運営がとてもスムーズだった」「役員の方々のチームワークが素晴らしい」など、多くのお褒めの言葉をいただきました。大会の成功を誇らしく思うとともに、大会を中心となって支えてくださいました本校教職員の皆様はこの紙面をお借りして改めて感謝の意を表します。



高等学校通信制教育70周年記念  
第69回全国高等学校通信制教育研究会島根大会

## 全通研「通信制教育宣言」

高等学校通信制は、多様な教育方法を実践する中で、生徒の成長の手応えを十分に感じながら、それを励みとして教育活動を展開できるすばらしい教育の場であります。高等学校における通信制教育が70周年を迎えたことを記念し、全通研は通信制教育に携わる全ての人々とともに、通信制教育のさらなる充実と発展をめざして取り組んでいくことをここに宣言します。

1. 私たち全通研は、文部科学省「高等学校通信制教育の質の確保・向上のためのガイドライン」に基づき、「生徒に不誠実な教育は教育でない」という立場から、学ぶ人の心身の成長に資する正しい高等学校通信制教育を実現してまいります。
2. 私たち全通研は、学びは希望そのものであるという理念を改めて確認し、先達が灯し続けてきたその希望の光を、学びを求める全ての人々に届けられるよう高等学校通信制教育の充実にまい進してまいります。
3. 私たち全通研は、通信制教育70年間の社会情勢の変化と情報通信技術の進歩を積極的に受け止め、一層の教育研究を重ね、常に時代に即応した新しい教育の実践に挑戦してまいります。

平成29年6月15日  
全国高等学校通信制教育研究会

## &lt;6月22日(木) 『瑞風』がやって来た&gt;

前号『瑞風』がやって来る ～訪れる方々に瑞々しい風を！～でも紹介しましたが、6月22日(木) 8時22分、豪華寝台列車トワイライトエクスプレス瑞風(みずかぜ)が営業運転として初めて宍道駅に到着しました。

松江市長さんをはじめとする行政関係者、JR関係者、宍道町の方々、宍道小の全校児童、そして本校生徒会執行部が加わり約1,000名でお客様を出迎えました。当日の通信制はスクーリングがない日にも関わらず、多くの通信制生徒が参加してくれました。地元氷川神社の出雲神楽の舞も披露され、朝からお祭りのような雰囲気でした。

生徒会執行部はお揃いのジャンパーを着て「歓迎」の横断幕を持って出迎えました。ひいき目かも知れませんが、いやひいき目だと思いますが、生徒会ジャンパーの橙色と横断幕の深緑の瑞風色、このコントラストが鮮やかで際立って見えました。登校途中の生徒も旗を持って加わり、「菅谷たたら山内」見学に向かう瑞風バスを見送りました。

ちなみに、瑞風の車両と専用バスが並ぶ光景がみられるのは宍道駅だけだそうで、多くの方がその姿をカメラに収めていました。報道陣各社が取材に駆けつけ、執行部の渡部さんがテレビ局のインタビューに上手に答えていました。また、今春大学を卒業し新聞記者となった卒業生(本校1期生)の方が、カメラと脚立を抱えながら一生懸命に取材しておられ、清々しく感じました。

その日の午後、宍道駅長さんが来校され、「瑞風バスに乗りされたお客様からすぐにお電話を頂戴し、『ほんとうに感激しました。どうか駅長さん、お出迎えいただいた皆様にお礼をお伝えください。』とのことでした。」とお客様のメッセージを届けてくださいました。

瑞風のおかげで宍道駅に笑顔が溢れていました。前号で「旅人は大切にもてなすものとされてきた。その理由は、新たな『ひと・もの・こと』との出会いが新しい風を起こしてくれるのでは、という期待感ではないか」と書きましたが、実際に新しい風を感じています。

というのは、地元関係者の方から「宍道高校と連携した取組ができないか」とお話をいただいています。本校生が地域の課題を見だしその課題解決に向け考え行動する、そのような学びをとおして自己有用感を高め、日本や世界の諸課題を見る目が育ち、自己指導能力が高まり(自律)、自立に向かっていく、そのようなステージを新たに準備できないか。思案中です。

## &lt;6月30日(金) キャリアガイダンス 卒業生講話と分野別ガイダンス&gt;

5名の卒業生による講話が行われました。卒業したばかりのフレッシュな社会人から「就職先や進学先の状況」、「今の進路に至った経緯や思い」、「今、現役のみなさんへ伝えたいこと」など、熱心に語っていただきました。在校生の皆さんの進路選択に大変参考になるお話でした。この後分野別ガイダンスが行われ、各分野のスペシャリストによる説明や体験、模擬授業などが行われ、新たな仕事や学びとの出会いとなりました。

何とどう出会うかが人生を左右します。これからもこのような学びや出会いの機会を大切にして気づきの力を磨いてほしいと思います。案外進むべき道は近くにあるかも知れません。

## 編 | 集 | 後 | 記

先日、我が家の小1の娘が「ハァ〜」と大きなため息をついているので、「どうしたかね」と聞いたところ「あっと言う間に1日が終わるわ」と…。自分が小1の時にこんなことを考えていたかなと…。やりたいことがたくさんありすぎて1日24時間では足りないようです。時間は気づかないうちにどんどん過ぎていきますよね。

これから本格的な夏が始まります。あつ〜い夏を皆さんはどのように過ごされる予定ですか? レポート!? アルバイト!? 試験勉強!? 旅行!? …。

時間を大切に、充実した日々を過ごして下さい!!